

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年12月8日

施設名	高知県立森林研修センター情報交流館	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	-------------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	(1) 森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに学習機会の提供 (2) 森林に関するボランティア活動等の支援 (3) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (4) 利用料金の徴収に関する業務 (5) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (6) 情報交流館の利用促進に関する業務 (7) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	木造平屋建609.35㎡(木工室(54㎡)、研修室(54㎡)、シアター室(54㎡)、企画展示室(49.5㎡)、事務室(49.91㎡)、便所など) 開館時間:午前9時から午後5時まで 休館日:①月曜日(その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日)、②休日の翌日(その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。)、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金:1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円(370円)、シアター630円(780円)、(()は休館日)		
職員体制	常勤職員:3人 合計:3人		

2 収支の状況

単位:千円

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
収入	県支出金	16,022	16,149	16,532
	利用料	96	127	100
	参加料	2,024	2,447	2,030
	交付金、助成金等	846	1,314	1,600
	その他	1	0	20
	収入計 (a)	18,989	20,037	20,282
支出	事業費	2,626	3,724	3,750
	管理運営費	5,158	4,737	5,432
	人件費	10,533	11,066	11,100
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	18,317	19,527	20,282
収支差額 (a) - (b)		672	510	0

3 利用状況

	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	10,911	15,134	15,000
	職員派遣事業等により施設外での対応実績人数		
	2,298	2,886	3,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、講座、学校対応等、全ての行事ごとにアンケートをとり、結果をスタッフで共有した。また、行事の終了後にミーティングを実施した。 ・施設内の巡回を行い、来館者の様子を観察し、必要に応じてコミュニケーションをとった。 ・職員が講座、イベント、学校対応、派遣事業等に参加し、直接利用者からのフィードバックを受ける機会を増やした。 ・学校等団体利用の際は事前打ち合わせを十分に行い、目的や要望を正確に把握した。又、活動中は先生、生徒と積極的にコミュニケーションをとった。 <p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの高い夏休み時期の親子イベントを充実させた。 「水鉄砲と竹とんぼ」前年度の1回を2回に拡充。 参加者 R3年度 130人→R4年度 247人 「間伐材を使った工作」前年度の2月開催から7月に変更した。 参加者 R3年度 23人→R4年度 186人 ・予約不要で来館時に申込みできる「いつでも木工」の内容を見直して告知した。 利用件数 R3年度 183件→R4年度 412件 ・R3年度から実施している「ネイチャーゲーム」の評価が高かったため、学校対応を増やした。 		
③その他特記事項			

4 令和4年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と関係団体、地域ボランティアがうまく連携し、利用者に対応できている。 ・忙しい中、工夫して研修に努めている。 ・アンケート、聞き取り等をしっかりと分析し、ニーズを拾い、プログラムの見直し等の事業改善、サービス向上につなげている。 ・フィールド管理の安全性の確保は大変であるが、よく行っている。 ・経費の削減についての意識は高い。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プログラムがわかりやすく刷新されたことがよかった。 ・事業の計画・実施の改善に前向きである。 ・団体やボランティアとの連携がよい。 ・チラシ等の配布が効果をあげているように思う。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回る利用者があった。 ・コロナ前の水準に戻した。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を組み合わせて工夫している。 ・県と良好な関係で適正に使われていると判断。
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営・事業はしっかり実施されている。今後もPDCAを回して、取り組んでいってもらいたい。 ・プログラムの改訂・アンケート活用等の、利用促進への工夫も見られる。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの